

ShowMatch SMS118

DeltaQ array subwoofer



製品概要

ShowMatch SMS118 subwooferは、DeltaQフルレンジモジュール用に最適設計されたサブウーファーで、低域の周波数レスポンスを29Hzまで拡張します。SMS118のエンクロージャー幅とリギングシステムは、フルレンジモジュールと共通設計となっており、アレイフレームやグラウンドスタックブラケットなどのオプションを使い、様々なセッティングを簡単にセットアップ可能です。ポータブル用途も考慮したバルチックバーチ材のエンクロージャーは、グラウンドスタックのアプリケーションや、中央部に備えられたポールマウントアダプターを使い他のスピーカーと組み合わせて使うことも可能です。

主な特長

- **DeltaQテクノロジー** – 客席に音を正確に届ける次世代アレイスピーカーテクノロジーにより、カバレッジパターンを柔軟に選択可能。音質とボーカルクラリティを向上し、通常のラインアレイスピーカーに比べボックス数を少なく構成することができます。
- **ShowMatch に最適な1x 18" subwoofer** – 中/高域ボックスとサブウーファーを組み合わせてShowMatchアレイを構築すれば、29 Hzまでの低域を実現。
- **Bose Professional独自の18インチネオジウムハーハイエクスカーション4.5インチボイスコイル搭載のトランスデューサー**により、性能を最大限に引き出します(RMS218と同じトランスデューサー)。
- **4ポイントのクイックピンによる統合リギング機構** – サブウーファーを最大18台結合可能(安全率10倍以上)。
- **フロントグリルとリアに設けられたNL4入力** – ボックスをひっくり返すカーディオイドアレイにも容易に対応可能。
- **統合型ポールカップアダプター** – ShowMatch以外の中/高域スピーカーとアクセサリのマウントポールを組み合わせて利用可能。
- **取り外し可能なサイドキャップ** – リギング機構で強度と衝撃耐性を向上。常設のサウンドシステムではこのキャップを取り外すことでワイドを縮小でき、シンプルな外観に変更できます

技術仕様

モジュール単体のパフォーマンス				
周波数特性 (-3 dB) (1)	32~250 Hz			
周波数レンジ (-10 dB)	29~300 Hz			
推奨ハイパスフィルター	30 Hz (12 dB/octave)			
指向特性	無指向性			
推奨クロスオーバー	60~100 Hz (DSPでアクティブクロスオーバーが必要)			
	Bose Professionalライブサイクルテスト ⁽⁴⁾		AESトランスデューサーテスト ⁽⁵⁾	
	アレイ (free field)	床置き (half space)	アレイ (free field)	床置き (half space)
許容入力 (連続)	750 W	750 W	1250 W	1250 W
許容入力 (ピーク)	3000 W	3000 W	5000 W	5000 W
感度 (SPL/1 W @1 m) (2)	92 dB	98 dB	92 dB	98 dB
最大音圧レベル (@1 m, 計算値) (3)	121 dB	127 dB	123 dB	129 dB
最大音圧レベル (peak, @1 m, 計算値)	127 dB	133 dB	129 dB	135 dB

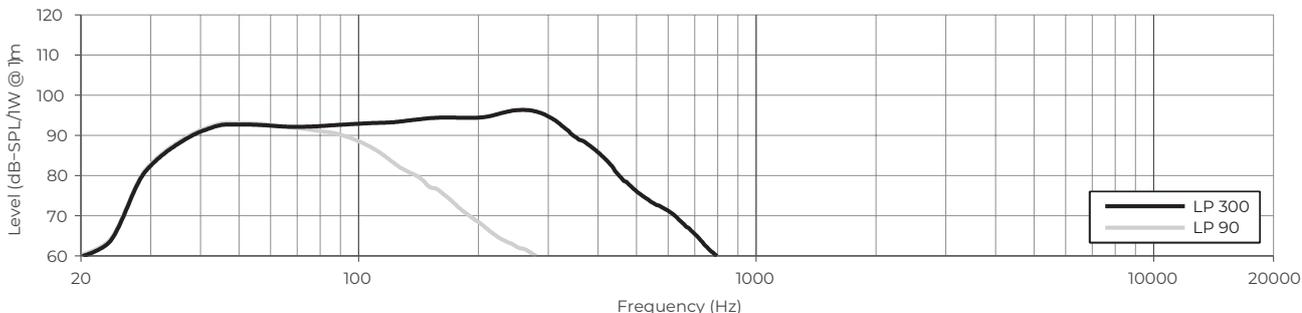
トランスデューサー	
低域	Bose Professional LF18 ネオジウム製18インチ ハイエクスカーション ウーファー (4.5インチボイスコイル) x1
インピーダンス	4Ω

物理的仕様	
エンクロージャー材質	バルチックバーチ材
仕上げ	2液性ポリウレタンスプレーコーティング、ブラック
グリル	16ゲージ (1.5 mm) の有孔スチール、パウダーコーティング、ブラック
使用環境	IPx4
コネクター	NL4 (リア) x 2, NL4 (フロントグリル) x 1 (いずれもバラレル)
吊り下げ/取り付け	4ポイント クイックピン リギング システム、M10上面インサート x 4およびM10底面インサート x 4、M20ポールカップ
寸法 (H x W x D)	540 x 765 x 775 mm/W: 757 mm (サイドキャップなし)
質量	136.5 lbs (61.9 kg)
梱包質量	145 lbs (65.8 kg)
アクセサリ	リギングフレーム、グラウンドスタックブラケット、ショートクイックピン

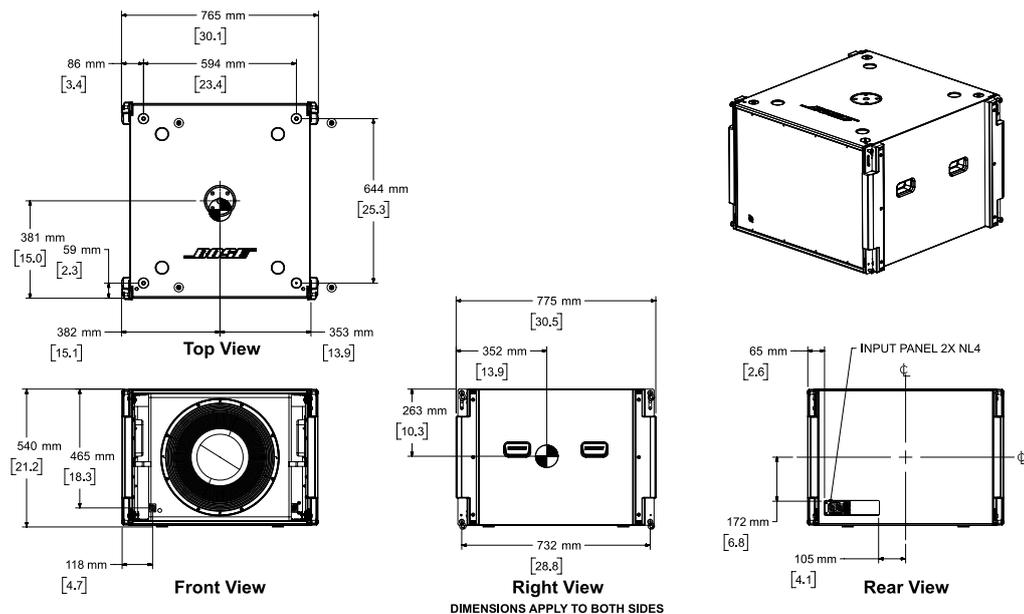
ShowMatch SMS118

DeltaQ array subwoofer

周波数特性



外観



脚注

- (1) 推奨EQおよびバンドパスを適用し、無響空間において軸上で測定した周波数特性および周波数レンジ。
- (2) 推奨EQおよびバンドパスを適用し、指定の境界条件で測定した感度(1 W @ 1 m)。
- (3) 感度および許容入力に基づき、電力圧縮を除外して計算した最大音圧レベル。
- (4) Bose Professionalライブサイクルテスト: ピンクノイズ(IEC268-5)、クレストファクター6 dB、最大出力500時間持続。
- (5) AES標準コンポーネント許容入力テスト: 60~18000 Hzのバンドパスでのピンクノイズ、クレストファクター6 dB、2時間持続。

BoseはBose Corporationの登録商標です。DeltaQおよびShowMatchは、Transom Post OpCo LLCの商標です。NEUTRIKは、Neutrik AGの登録商標です。その他すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。©2023 Transom Post OpCo LLC。仕様および設置についての詳細は、BoseProfessional.comを参照してください。仕様は予告なしに変更される場合があります。07/2023